

目的

奈良教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

基本的な目標

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命とします。第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たします。さらに、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を進展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与します。

特色 (奈良教育大学の3つの柱)

1. 人・環境・文化遺産との対話を通じた教育の追究

本学は、古く奈良の中心に位置し、豊かな自然や世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。また、奈良国立博物館・奈良文化財研究所との連携によって、奈良で学ぶ喜びを実感しながら、感性を磨くことができます。このような恵まれた環境の中、全学生数が約100名という特長を生かし、アクティブラーニングを重視した対話型の授業や、研究室ゼミでの丁寧な指導により、学問・芸術・スポーツ等を深く追究します。人と対話し、環境や世界遺産と対話することを通して、確かな学力を基礎とするコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など、教員として必要な資質・能力を着実に身に付けることができます。

2. 持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成

本学は、附属学校園とともにユネスコスクールに認定されています。また、「持続可能な開発のための教育」(ESD: Education for Sustainable Development)の推進拠点として研究を重ねています。これらの学校教育は、すべての校種・教科等において、「持続可能な社会づくりの担い手」を育成することが求められます。本学では、環境、文化、平和、人権等、ESDの対象となる様々な課題に対応できるカリキュラムを用意し、教員を目指す全学生がESDについての知識、指導方法を身に付けることができるよう取り組んでいます。このような教育を通して、「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)の実現を目指す大学として、地域や社会へ貢献しています。

3. 教員養成と教員研修の融合

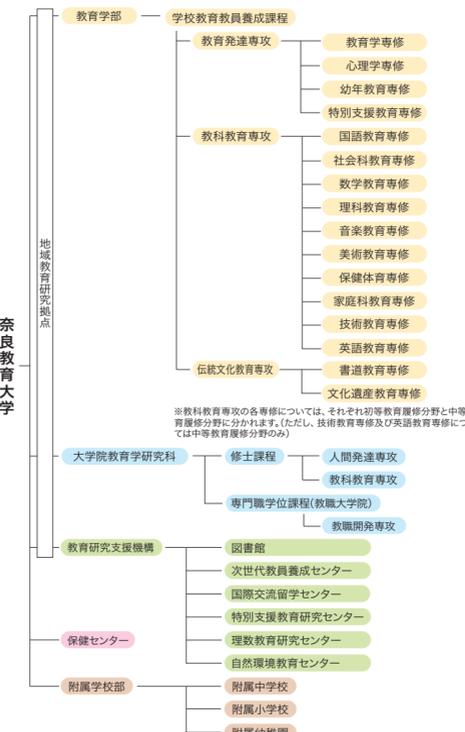
本学は、「教員養成」と「現職教員研修」を大きな責務としています。教員養成では、実習を含む大学の授業やスクールサポートなどの自主的体験活動が中心となります。教員研修では、本学教員が現職教員へ最新の知見を提供し、アドバイスをしています。さらに、本学学生が現職教員研修に参加することや、本学教員が地域の学校や子供との関わりから得た知見を大学の授業に提供することを通し、「教員養成」と「教員研修」の融合を図っています。この取組は全国的にも高く評価され、大学在学時から教員就職まで、一貫した実践的指導力と研究遂行能力の育成を行っています。



歴史

明治 7(1874)年 教育伝習所として興福寺内に「學堂書院」創設
明治 8(1875)年 奈良(小学)師範学校と改称
明治 21(1888)年 奈良県専修師範学校創設
昭和 24(1949)年 国立学校設置法の公布により奈良学芸大学設置
昭和 41(1966)年 奈良教育大学と改称
昭和 58(1983)年 大学院教育学研究科修士課程設置
平成 16(2004)年 国立大学法人法の公布により国立大学法人奈良教育大学設置
平成 20(2008)年 大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)設置
平成 24(2012)年 教育学部改組(入学定員 255 名すべてを学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程の募集停止)
平成 26(2014)年 大学附属センターを再編
平成 28(2016)年 大学院教育学研究科を改組(特別支援教育特別専攻科を廃止)
平成 29(2017)年 地域教育研究拠点を設置・教員組織の一元化
平成 30(2018)年 国立大学法人奈良女子大学と連携協定に関する合意書を調印
令和 元(2019)年 国立大学法人奈良女子大学と国立大学法人奈良設立に関する合意書を調印

教育研究組織機構図



教育学部紹介

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校といった学校種についての学びとともに、それらの枠をこえ、幼児・児童・生徒の発達を基礎とすえた実践力豊かな教員を養成する課程です。主として「義務教育を幅広く見渡すことのできる力量」「異職種に柔軟に対応できる教育的力量」「授業・教育指導のための実践的力」「特別な支援を必要とする子どもに対する臨床的力」「現代的課題への積極的な対応力」の形成をめざしています。

大学院紹介

教育学研究科(修士課程・専門職学位課程(教職大学院))

教育学研究科は、学校教育に関する学問の体系及びその応用としての教育実践、教育臨床の高度化と多様化に応えるため、教育学の学問的基礎力と現代的な教育課題への対応力を備え、専門的な能力と優れた資質を有する高度専門職業人としての教員・教育者を養成します。また、現職教員に対する教育や研修の一層の充実をめざしています。

取得可能な教員免許状・資格

学校教育教員養成課程

- 幼稚園教諭一種
- 小学校教諭一種
- 中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、工業、家庭、英語、情報、書道)
- 特別支援学校教諭一種(「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育の領域」「病弱者に関する教育の領域」)
- 養護教諭一種

大学院(修士課程、専門職学位課程)

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要な単位を修得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能です。

取得可能な資格

- 社会教育主事
- 学校図書館司書教諭
- 保育士(教育発達専攻 幼年教育専修の学生に限る)
- 学芸員
- スポーツ指導者
- 認定心理士(教育発達専攻 心理学専修の学生に限る)
- 教育支援人材
教育支援人材(こどもパートナー・こどもサポーター(学校活動支援)・こどもサポーター(バリエーション)・こどもサポーター(ESD)・こどもサポーター(ICT活用))
- 学校心理士申請のための基礎資格(大学院修士課程 教育・心理専修の学生に限る)



学生数

	収容定員	男	女	計
学校教育教員養成課程	1,020	457	657(4)	1,114(4)
修士課程	90	30(7)<3>	32(7)<9>	62(14)<12>
専門職学位課程(教職大学院)	50	26<5>	11<5>	37<10>
大学院計	140	56(7)<8>	43(7)<14>	99(14)<22>

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

教職員数

学長・理事	大学教員	附属学校園教員	事務職員
3	92	70	65

非常勤教職員は除く。

令和2年度入学状況

教育学部

専修等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
教育発達専攻	15	94(1)(1)	16	16
心理学専修	15	84(4)	17	13
幼年教育専修	13	70(1)	15	15
特別支援教育専修	12	43(1)	13	13
国語教育専修	25	91	27	26
社会科教育専修	25	87	25	25
数学教育専修	26	126(1)	28	28
理科教育専修	29	119(1)	28(1)	28(1)
音楽教育専修	18	68	18	18
美術教育専修	11	51(1)	11	11
保健体育専修	19	112	23	22
家庭科教育専修	9	44	10	9
技術教育専修	4	37	6	6
英語教育専修	12	57(1)	13	11
書道教育専修	15	80(1)	17	17
文化遺産教育専修	7	32	7	6
計	255	1,195(12)(1)	274(1)	264(1)

()内は外国人留学生数を外数で示す。()内は帰国生徒特別入試を外数で示す。

大学院

専攻等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
修士課程	9	6(4)(2)	3(1)(2)	3(1)(2)
専門職学位課程(教職大学院)	36	32(6)(3)	27(3)(3)	27(3)(3)
計	70	60(10)(11)	47(4)(10)	46(4)(10)

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

学生支援・学生の取組

奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生を対象に、学費援助の一環として奨学金制度があります。

奨学生

	学部	大学院	計
日本学生支援機構	給付 113	—	113
	無利子(第1種) 228	10	238
	有利子(第2種) 146	4	150
	その他 9	0	9
計	496	14	510

入学料及び授業料の減免

経済的理由によって入学料、授業料の納付が困難で、かつ学業成績優秀と認められる者を対象として、入学料、授業料を免除及び徴収猶予する制度があります。平成31年度には、在学生の13.1%が免除を受けています。

学生企画活動支援事業

本学学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、より優れた教員として、また、社会人として成長することを目的としています。

参考:平成31年度採択事業 令和2年度の学生企画活動支援事業は中止となりました。

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
作ってハッピー☆造形ひろば	令和元年11月2日	造形活動の楽しさを知ることができような普及会でできない活動ができる環境を提供する	地域の児童・生徒とその保護者	本学
理科実験教室in奈良教育大学～見て、作って、楽しもう～	8月	小学生を対象に理科実験教室を開催する。実験は色を題材としたものを中心として様々な化学反応を扱う。	地域の児童・生徒	本学
学校教育とジェンダー・セクシュアリティを考える	適年	「学校教育とジェンダー」をテーマに、全ての教科に関する事項として、該当する内容を実践・研究されている方を招いて講演会を行う。	本学学生	本学
楽器ふれあいコンサート～音楽を楽しもう～	適年	地域の幼稚園・保育園や福祉施設へ行き、各地域にあった楽器を遊び演奏する。	地域の方、幼児等	奈良県内の幼稚園・保育園及び福祉施設等
KYOU-YOUプロジェクト	適年	奈良県内での学習と上級を学ぶための上級生向けに、KYOU-YOUプロジェクト(DIG)が実施している。参加者がお互いに助け合い、お互いに成長していく。	本学学生と飛鳥地区の学校や幼稚園の教員・生徒、地域の方	本学、飛鳥中学校
障がいのある子どもと保護者との関わり	令和元年10月26日	障がいのある子どもとその保護者とお互いに学びあおう～	障がいのある子どもとその保護者	借真山のどか村
手話(聴覚障害者の言語)を学ぶ	適年	聴覚障害者を講師に招き、手話を学び、聴覚障害者の生活を知る。手話をしめとすコミュニケーションの多様性や障害理解の普及に努める。	本学学生	本学
学生オペラ2020「あなたに伝えたい心～あなたもついでにいかがですか?～」	令和2年3月8日	学生オペラ エンゲルベルト・フンパーディン作曲「ハンゼルとグレーテル」	一般の方、本学学生	本学講堂
ESD実践勉強会～古部宗良からみらいへ～	適年	本学学生へのESD及びSDGsのさらなる普及、本学学生の防災意識の向上を目的として、防災に関する事項及びESDに関する基礎知識を実践的に学ぶ勉強会を実施する。	本学学生	本学 奈良県青少年野外活動センター

https://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/extracurricular/planning.html

就職支援・進路

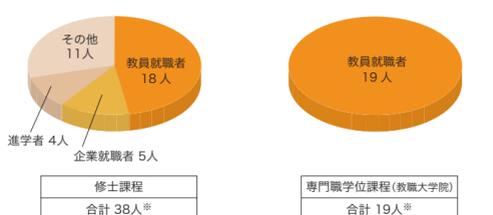
就職支援室を設置し、様々な対策講座や模擬面接、模擬授業、実技試験の練習場所開放などを行っています。また、教員採用試験受験者向けと企業就職者向けにそれぞれ就職相談員を配置しています。

令和2年3月卒業・修了者の進路状況 (令和2年5月1日現在)

教育学部

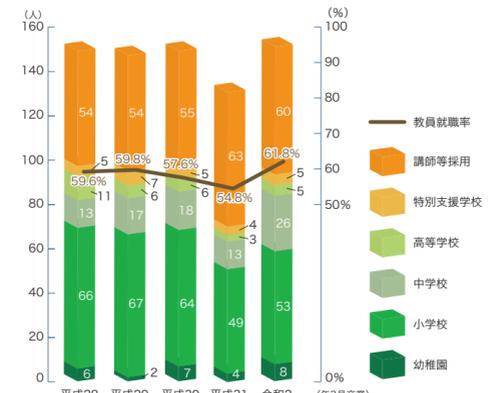


大学院



※大学院は留学生、現職含む

過去5年間の教員就職者の推移 (学校教育教員養成課程卒業生)



教育研究支援機構

図書館

教育・研究のため、図書・雑誌を揃え、学生及び教職員のほか、地域の方へ貸出しています。また、文献検索及び文献所在調査等により、調査・研究の援助を行っています。教員志望の学生が実践的教育力や指導・課題探求の向上を図るため、多様な学修活動に対応した「学修空間」として「ラーニング・commons」や「グループ学習室」、「えほんのひろば」を設置しています。

蔵書数

区分	図書		雑誌	
	和書(冊)	洋書(冊)	和書(種)	洋書(種)
蔵書数	295,738	47,521	343,259	4,938
令和元年度入数	3,365	225	3,590	502

教育資料館

我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料の収集及び展示が行われています。また、常設展(新薬師寺旧境内展)、教職員及び学生による特別展や企画展も開催しています。

次世代教員養成センター

教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置された「連携拠点」の一つとして、平成25年7月1日に設置されました。ICT活用を含む実践的教育力・指導力の向上、課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センターは、「情報教育部門」「ESD-課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

国際交流留学センター

文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に行い、国際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支援し、教員養成大学としての国際交流を推進することを目的としています。

自然環境教育センター

学生・児童・生徒および地域住民を対象とした講義・実習・公開講座の実施に加え、教育方法や教材の開発およびその他の研究活動を通じ、自然教育や自然環境教育を担う人材の育成を行っています。

特別支援教育研究センター

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的に行い、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進しています。センターには、児童精神科医、臨床心理士、作業療法士などを配属しています。

理数教育研究センター

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域や現場と一体となって取り組んでいます。本センターは、教材・カリキュラム開発や地域連携等の事業を推進する「教育プログラム推進部門」、オープン・サイエンス・ラボ、アドバンス・サイエンス・ラボの運営や先端的研究機関との連携等を行う「先端科学教育部門」等からなり、理数教育プログラムの開発、SST(スーパーサイエンスティーチャー)養成、公教育の支援のほか、理工学系部門との連携や国際協力等の事業を展開しています。

保健センター

健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、対人関係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。

入試情報

令和3年度入試日程 (令和3年4月入学者)

入試区分	出願期間	試験日		
教育学部	総合型選抜	9月23日(水)～9月29日(火)	第1次選考 共通テスト 10月24日(土) 専修別選考 10月25日(日) 第2次選考 共通テスト 1月16日(土) 1月17日(日)	
		前期日程	1月25日(月)～2月5日(金)	2月25日(木)
		後期日程	共通テスト 特別選考受験者 2月15日(月)～2月18日(木)	3月12日(金)
大学院教育学部研究科	一般選抜	追試験	募集要項を確認してください。	3月22日(金)
		9月募集	7月30日(木)～8月5日(水)	9月5日(土)
		2月募集	11月27日(金)～12月3日(木)	2月13日(土)
大学院教育学部研究科	修士課程	9月募集	7月30日(木)～8月5日(水)	9月6日(日)
		11月募集	10月16日(金)～10月22日(木)	11月7日(土) 11月8日(日)
		2月募集	11月27日(金)～12月3日(木)	2月14日(日)

- 総合型選抜とは、公募による自己推薦に基づく選抜方法です。
- 教育学部一般選抜(前期日程、後期日程)は、インターネットによる出願となります。
- 詳しくは、各募集要項をご覧ください。

入試情報に関するお問合せ先	奈良教育大学 入試課 TEL 0742-27-9126 nyuusi@nara-edu.ac.jp
---------------	--

お問い合わせ先

- 入試に関すること(入試課) 0742-27-9126
- 学生の求人に関すること(学生支援課就職担当) 0742-27-9129
- 公開講座に関すること(企画連携地域連携担当) 0742-27-9108
- 施設利用(外部貸付)に関すること(財務課総務・決算担当) 0742-27-9112
- 研究協力、産学連携、寄付金に関すること(教育研究支援課学術・研究担当) 0742-27-9135
- 図書館の利用に関すること(図書館) 0742-27-9137
- ホームページ、広報誌、その他お問い合わせ全般(総務課総務・広報担当) 0742-27-9104

